

令和8年度

肢体不自由教育部門

中学部

第2学年

⑤学習グループ

年間指導計画

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部		学 年	第2学年	教育課程名	教育課程名	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	国語			学習グループ名				
目標・ねらい	(1) 抽象的な概念を表す語句を学び会話文章で使用することで、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 (2) 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 (3) 進んで文章を読み理解や思考した事を知識経験と結び付け学習課題に沿い文章を書こうとしている。							
年間授業時数	140 単位時間							
使用教科書	光村図書出版							
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容				指導上の工夫	
4	アイスプラネット	12	詩(見えないだけ) 説明文(アイスプラネット) コミュニケーション(問いを立てながら聞く) 詩(季節のしおり)				<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代背景や価値観を調べ、古人の考えや生活様式に理解を示す手段とする</li> <li>・本、新聞、インターネットの情報を具体的に準備し、比較検討しやすくする</li> <li>・短歌の特徴についてしっかりと学び、名短歌の優れた点を意識しながら詠めるようにする。</li> <li>・人物の言動から人柄を読み取り、初読の人物像との変化を比較できるようにする。</li> <li>・当時の時代背景や地理、宗教観を調べ、地球とイースターの共通点を見出せるようにする。</li> <li>・教材以外に報告や解説など「最後の晩餐」についての資料を読み理解を深めるようにする。</li> <li>・原作詩「人質」シラー作を合わせて読み、構成や表現の特徴について、共通点・相違点を整理し、「走れメロス」の魅力を確認できるようにする。</li> <li>・設定とあらすじを具体的に考え、起承転結を意識した構成でかけるように段階を経て取り組むようにする。</li> <li>・自分の「木」に対するイメージを具体的にあげ、詩の中のイメージと比較し違いを意識できるようにする。擬人法について学び、詩内での効果を学べるようにする。</li> </ul>	
5	枕草子	12	古文(枕草子) 説明文(情報処理のレッスン) 創作(職業ガイドを作る) 漢字学習(説明文) クマゼミ増加を探る					
6	クマゼミ増加の原因を探る	12	(説明文) 魅力的な提案 漢字学習(文法) 単語(説明文) メディアを比べよう					
7	短歌に親しむ	11	(文法) 対義語・類義語・多義語(説明文) 翻訳作品を読み比べよう(詩) 季節のしおり					
9	ヒューマノイド	15	(小説) ヒューマノイド(表現) 聞き上手になろう(表現) 表現の工夫(表現) 表現の効果を考える(文法) 敬語					
10	思考のレッスン1 根拠の吟味	12	(表現) 思考のレッスン(表現) 根拠の適切さを考えて書こう(表現) 討論・異なる立場から考える・立場を尊重し、話し合おう					
11	仁和寺にある法師	10	(詩) 月夜の浜辺(古文) 源氏と平家・平家物語・徒然草(詩) 季節のしおり 漢字学習					
12	君は最後の晩餐を知っているか	13	(表現) 鑑賞文を書く(文法) 活用について(説明文) 研究の現場へ(詩) 季節のしおり 漢字学習					
1	走れメロス	15	(文法) 単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成についての理解 漢字学習					
2	ある日の自分を書こう	15	(表現) 話し言葉と書き言葉の特徴についての理解・言葉がもつ価値の認識(表現) テーマを話し合い壁新聞を作成					
3	木	8	(詩) 木 (まとめ) 学習のふりかえり					
通年	文法への扉	5						

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	社会		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)日本の各地域について、地域的特色や地域の課題を理解している。日本の歴史の流れを欧米諸国の動きを関連付けながら理解している。 (2)時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地理的事象や近世の日本を多面的・多角的に考察し、表現している。 (3)社会的事象に対する関心を高め、よりよい社会を形成していくために自ら考えようとする態度を育てる。				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	帝国46(703)社会科 中学生の地理世界の姿と日本の国土、東書2(705) 新しい社会 歴史				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	<地理的分野>第3部 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査のしかた 第2章 日本の地域的特色	18	○地域調査のしかたや日本の地域的特色について知る。 ◆「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信の項目」を取りあげ、分布や地域などに着目し、日本の地域的特色を理解する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地に興味をもつことができるよう、視聴覚資料を多く提示する。</li> <li>世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。</li> </ul>
5					
6	<地理的分野> 第3章 日本の諸地域 1九州地方、2中国・四国地方、3近畿地方 第4部 地域のあり方 第1章 地域のあり方 4中部地方、5関東地方、6東北地方、7北海道地方	30	○プリント学習、資料読み取り、視聴覚資料から、世界の諸地域の気候や、その中で生活を営む工夫を知る。 ◆世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察し、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界各地に興味をもつことができるよう、視聴覚資料を多く提示する。</li> <li>世界の人々の生活を追体験できるよう、ロールプレイ等を行う。</li> </ul>
7					
9					
10	第3章 中世の日本 1節 武士政権の成立 2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開 第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと合流	20	○近世の世界と中世の日本の動きを知り、互いの関連性について考察する。 ◆大航海時代による諸外国からの影響と武士社会の確立、産業の発展や特色ある文化の違いについて理解を深める。 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑な日本と世界の関係や当時の人々の生活を知ることができるよう、動画や絵巻物などの資料を提示する。</li> </ul>
11					
12	第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新 4節 日清・日露戦争と近代産業	28	○近世から現代に至るまでの時代の中で、文化や生活様式の変化を捉えながら、時代を追って出来事や変化をまとめる。 ◆近代前半の時代の特徴について、課題意識をもって究明し、捉えることができる。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>劇的な文化や生活の変化を捉えることが出来るよう、見比べることが出来る資料を提示する。</li> <li>近代戦争の特徴を捉えることが出来るよう、戦争の原因や引き金を深く説明する。</li> </ul>
1					
2					
3	学習のまとめ	9	1年の学習の振り返りをする。		

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	数学		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 (2)事象を論理的に考察する力、数量や図形を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。				
年間授業時数	115 単位時間				
使用教科書	学校図書「中学校 数学 2」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	式の計算	13	○多項式の計算、式の利用		<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想したり、同じように考えたり、筋道を立てて考えたり、まとめて1つとみたりするなどの、数学的な見方や考え方を適宜強調する。</li> <li>・今までの学年で学んでいる内容で理解が十分ではないものに関しては、プリントや宿題等で復習を適宜行い、理解の定着を図る。</li> <li>・パソコンやタブレット端末なども用いて視覚的な支援を行い、分かりやすく説明する。</li> </ul>
5	連立方程式	16	○連立方程式とその解、連立方程式の利用		
6	1次関数	22	○1次関数とグラフ、方程式と1次関数		
7					
9	図形の性質の調べ方	21	○いろいろな角、合同な図形と合同条件、図形の性質の確かめ方		
10					
11	三角形・四角形	18	○二等辺三角形、直角三角形、平行四辺形の性質		
12					
1	確率	10	○確率の求め方、いろいろな確率		
2	データの分布	10	○箱ひげ図、データの傾向の読み取り方		
3	1年間の振り返り	5	○2年生で学んだ内容の振り返り		
通年					

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	理科		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 自然の事象・現象についての理解を深め、観察実験の基本的な技能を身につける。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の事象・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	啓林館「ひろがるサイエンス」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	化学変化と原子・分子	41	物質の成り立ち 物質の表し方 さまざまな化学変化 化学変化と物質の質量		(1) 科学資料集や文献の図版などを用いて、見識を広める。 (2) 観察や実験を通し、実際に体験しながら理解を深めていく。 (3) 科書・ノートと復習用のプリントを通して、知識の定着を図る。
5					
6					
7	生物の体のつくりとはたらき	36	生物の体をつくるもの 植物の体のつくりとはたらき 動物の体のつくりとはたらき 動物の行動のしくみ		
9					
10					
11	地球の大気と天気の変化	32	地球をとり巻く大気のように 大気中の水の変化 天気の変化と大気の動き 天気の動きと日本の四季		
12					
1	電流とその利用	31	電流の性質 電流の正体 電流と磁界		
2					
3					
通年					

学 部	▼ 選択してください	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 音楽活動お楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2) 基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	教育出版 「中学音楽1 音楽のおくりもの」「中学音楽2・3上下 音楽のおくりもの」「中学音楽1-3 音楽のおくりもの」				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	曲想を感じ取り、ふさわしい表現を工夫しよう	3	○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○歌唱「花」「荒城の月」 ◆身体をリラックスさせて発声することができる。 ◆曲想を感じ取り、表現を工夫することができる。		・身体を温めるため、ストレッチを行う。 ・正しい発声をするため、姿勢を整える。 ・範唱を聴く。
5	小フーガ短調曲の形式を捉えよう	3	○鑑賞「小フーガ短調」 ◆パイプオルガンの音色を味わう。 ◆フーガという曲の構成を理解する。		・パイプオルガンの仕組みが分かりやすいよう、動画やイラストを用いる。
6	アンサンブルを楽しもう	4	○合奏「くいしんぼうのラップ」「DO-RE-MI」 ◆リズムを理解して演奏できる。 ◆鍵盤楽器を演奏し、アンサンブルを楽しむことができる。		・見やすくわかりやすい楽譜を提示する。 ・オノマトペを使って、リズムを捉えやすくする。
7	情景を思い浮かべながら表現しよう	3	○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○歌唱「夏の思い出」「浜辺の歌」 ◆歌詞の意味や情景を想像して歌唱表現することができる。 ◆身体をリラックスさせ発声することができる。		・情景を想像しやすくするため、画像を用いる。 ・歌詞の意味を分かりやすくするため、現代の言葉で説明する。
9	曲想の変化を感じ取って鑑賞しよう	3	○鑑賞 組曲「惑星」から第1曲「火星」 ◆オーケストラの響きを味わう。 ◆曲の特徴を捉え、タイトルと結び付けて鑑賞することができる。		・情景を想像しやすくするため、画像を用いる。
10 11	合唱を楽しもう	7	○歌うための準備 ○発声練習「犬のおなか」 ○合唱「翼をください」「コスモス」 ◆身体をリラックスさせて発声することができる。 ◆ハーモニーも美しさを感じ取り、表現することができる。		・ストレッチをしっかりと行う ・パートごとの音取りを繰り返し行う。 ・強弱記号に印をつけ、分かりやすくする。
12	音の重なりを感じよう	3	○合奏 讃美歌 ◆ハーモニーの美しさや移り変わりを感じ取ることができる。 ◆友達とテンポを合わせて演奏することができる。		・見やすくわかりやすい楽譜を提示する。
1	日本の調べに親しもう	3	○鑑賞 箏曲「六段の調べ」 ○箏演奏「さくらさくら」 ◆箏の音色や表現を味わいながら鑑賞する。 ◆箏のしくみを知り、簡単な曲を演奏できる。		・楽器の仕組みを理解しやすくするため、実際に箏を使用する。
2	音楽の背景を理解して鑑賞しよう	4	○西洋音楽史 ◆有名な作曲家の曲や有名楽曲をたどり、クラシック音楽への理解を深めることができる。 ○「フルタバ」 ◆情景を想像し、鑑賞することができる。 ◆作曲者の思いを感じ取りながら曲を鑑賞することができる。		・日本の歴史と比べられる年表を使用する。 ・情景をイメージしやすくするため画像を用いる。 ・歴史的な背景について説明をする。
3	卒業に向けて	2	○歌唱「旅立ちの日に」「いのちのうた」 ◆ブレスや強弱、フレーズを意識して歌唱することができる。 ◆曲想の違いを感じ取って表現を工夫することができる。		・ストレッチをしっかりと行う ・強弱記号に印をつけ、分かりやすくする。
通年					・見通しがもてるよう授業全体の流れを呈示する。

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	美術	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	美術			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 綺麗なもの美しいものに興味を向け、自分の見方や感じ方を広げる。						
年間授業時数	45 単位時間						
使用教科書	開隆堂出版「美術2・3」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫	
4	【絵画・彫刻】 色彩の仕組み 自由な視点で風景を見つめる	20	○鑑賞作品について、視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさ、イメージの変化などを感じ取る。 ○見慣れた風景を視点の位置を変えて見つめ、感じ取った新鮮な感動から主題を生み出し、単純化や強調、創造的な構成を工夫し、表現の構想を練る。 ○主題を基に絵の具などの特性を生かし、表現方法を追求しながら絵に表す。 ◆普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。			・生徒の個別の実態を把握し、今後の授業に生かせるように丁寧に指導する。	
5			○自然のよさや季節感を取り入れた日本の伝統や使う場面を基に主題を生み出し、形や色彩、材料などの効果を考えてアイデアスケッチをする。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って表す。 ◆生活に息づく工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、自然や季節感、地域素材を取り入れた日本の伝統や使う場面などを基に主題を生み出し、形や色彩、材料、技法、作風などの効果を考えて、見通しを持ってデザインし表す。				
6	【デザイン・工芸】 日本の技と心を受け継いで	20	○版による表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○彫りや刷りを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ◆表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考えて、材料や用具を工夫して版で表す。			・作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
7			○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。面を構成することができる。				
9	【絵画・彫刻】 刷って楽しむ版画の世界 「ステンシル」	20	○版による表現を用いた作品を鑑賞し、版で表す効果や技法による表現の違いなどを感じ取る。 ○対象から感じ取ったことや想像したことなどを基に、版の特徴を考えながら主題を生み出す。 ○主題を基に、版による表現の効果を工夫して構想を練る。 ○彫りや刷りを生かして、意図に応じて工夫して表す。 ◆表したい主題に合うように版の特性を生かした表現効果を考えて、材料や用具を工夫して版で表す。			・作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
10			○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。面を構成することができる。				
11	【デザイン・工芸】 ひと目で伝わる みんなのデザイン	20	○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。面を構成することができる。			・作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
12			○身の回りにあるサインやピクトグラムを調べ、伝えたい情報が多くの人に伝わるための工夫について考える。 ○校内や身近な場所に活用できるサインやマークを基に主題を生み出し、アイデアスケッチをする。 ○ひと目で伝わり、場所や目的に合ったデザインであるか互いに批評し合い、アイデアを再検討する。 ○主題を基に材料や用具の特性を生かし、見通しを持って制作する。面を構成することができる。				
1	【絵画・彫刻】 筆と水で多彩に表す	5	○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ◆墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。			・作る作品について iPad を用い調べ学習をする時間を設ける。 ・様々な作品に触れ、作品から感じるたことを言葉で表す ・技法などを丁寧に説明し、自分で見通しをもって作業できるよう配慮する。	
2			○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ◆墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。				
3			○墨などの性質や技法に触れながら、表したいものやイメージから主題を生み出す。 ○主題を基に、濃淡や線などの効果を考えて造形的な表現の構想を練り、工夫して表す。 ◆墨などで表すことに関心を持ち、表したいものやイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果を考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。				
通年	鑑賞		自他の作品を鑑賞して、良い点を発表する。				

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	保健体育	準ずる教育課程	中⑤
教科等名	保健体育			学習グループ名	中⑤		
目標・ねらい	(1) 運動の特性に応じた技能等及び、自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむことや健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。						
年間授業時数	38 単位時間						
使用教科書	中学保健体育						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫		
4	体育祭に向けて 陸上競技・球技	10	○集合、整列、集団行動		・課題解決場面を設定し、助け合う・話し合う活動を行う。		
5			○課題走球技など				
6	水泳	7	○水慣れ、浮き身、泳法指導		・室温、水温、WBGTを管理し、安全に入水できるようにする。 ・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・個に応じた課題を設定する。 ・ICT機器を使用する。 ・実態や課題に合わせてグルーピングをする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。		
7	保健「健康と環境」		○傷害の発生要因 ○交通事故の発生要因 ○交通事故の危険予測と回避 ○犯罪被害の防止 ○自然災害による危険 ○応急手当と心肺蘇生方				
9							
10	集団行動・マスゲーム ダンス	13	○集団行動・ダンス		・集団行動として、友達と協力する場面を設定する。 ・集団や空間を意識できるように、集合したり整列したりする。・各種運動ごとに学習プリントを使用し、ルールや競技方法、自己評価、次時の目標を振り返ることができるようにする。 ・動画等で手本を見たり、ICT機器を使用したりする。		
11	保健「健康な生活と疾病の予防」		○生活習慣病の起こり方 ○がんの予防 ○喫煙、飲酒、薬物乱用の害と健康 ○薬物乱用の社会的な影響				
12							
1	生涯スポーツ・武道	10	○生涯スポーツ		・学習目標を明確に示し、主体的な学習を促し目標を意識化できるようにする。 ・教科書や映像を提示しながら授業を進める。		
2	保健「文化としてのスポーツ」		○剣道：基本動作・面・小手				
3			○運動やスポーツの効果 ○運動やスポーツの安全な行い方				

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	技術・家庭	学習グループ名	中⑤
教科等名	技術・家庭			学習グループ名	中⑤		
目標・ねらい	(1) 社会や生活、自立に必要な基礎的な知識と技能を習得する。 (2) 社会生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、表現するなどして、課題を解決する能力を身に付ける。 (3) 社会生活を大切にすることを育みながら課題解決に主体的に取り組み、社会の一員として生活をより良くしようとする実践的な態度を養う。						
年間授業時数	70 単位時間						
使用教科書	東京書籍「新編 新しい技術家庭 技術分野」 開隆堂「技術・家庭 家庭分野」						
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫		
4	○生活や社会を支える技術	2	○技術の役割 ○問題の発見と課題の設定		・身の回りの製品に込められた技術や技術の発達について調べさせ、技術分野の学習への関心を高める。 ・安全に気を付けて実習を行う。 ・具体物を教材に活用して理解を促す。 ・様々な情報コンテンツを活用して興味関心を高める。		
5	○生活や社会を支える材料と加工の技術	21	○身の回りの材料と加工の技術の技術				
6	○材料と加工の技術による問題解決 ○社会の発展と材料と加工の技術		○材料の特性と加工方法 ○丈夫な製品を作る工夫 ○材料の性質の実験 ○部品加工の手順と工具(けがき、切断、穴あけ、塗装) ○製図				
7	○計測・制御のプログラミングによる問題解決	14	○計測・制御システムとは ○問題の発見と課題の設定		・ICT具体物や視覚支援を利用する。 ・実際の操作や実例紹介や実習などを通して、理解や思考の支援を行う。		
9							
10	○食生活を豊かにするために ・栄養素の種類と働き ・食品に含まれる栄養素 ・日常食の調理	24	○五大栄養素 ○6つの基礎食品群と、食品群別摂取量のめやす ○調理の基礎技術(計量器具の使い方、調理道具の使い方) ○日常食の調理(洗う、切る、調理、片付け)		・絵カードやパワーポイントなどで視覚的に分かりやすくする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。 ・安全と衛生に気を付けて実習を行う。 ・実習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする		
11							
12							
1	○家族・家庭生活	12	○家族・家庭や地域との関わり ○幼児の生活と家族 ○家族・家庭生活についての課題と実践		・見本や資料を提示し、視覚的に分かりやすくし、見通しがもてるようにする。 ・課題解決学習を通して、自分の課題に気付き、解決策と一緒に考えながら実習を進められるようにする。		
2							
3							
通年							

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	外国語		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 英文の形・意味・用法を理解し、日常的な話題について英文の概要を捉える技能を身につける。 (2) 話の内容を把握して適切に応答するために、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、まとまりのある話をしたり文章を書いたりする。 (3) 日常的な話題や海外の話題について、主体的に英語を用いて伝え合おうとする。				
年間授業時数	147 単位時間				
使用教科書	東京書籍 NEW HORIZON English Course2				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	Unit0 My Spring Vacation	12	これまで学んできたことを用いて、自分が経験したことを同氏の過去形を用いて伝える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で簡単な挨拶をしたり、やさしい指示を聞いて行動したりすることに慣れるよう、毎時の授業で定型表現を用いる。</li> <li>・視聴覚教材を活用して、音声と文字が結び付くようにする。</li> <li>・授業の始めに英語の歌を扱い、ネイティブの発音やイントネーションにふれる。</li> <li>・学習内容の理解の定着を図るため、プリントやワークを用いる。</li> <li>・ALTによる授業では、発音に慣れるとともに、自信をもって発言できるような雰囲気作りをする。</li> </ul>
5	Unit1 What can we experience on a trip?	12	未来形を用いた文、SVOO, SVOCの文型を理解し、予定や計画について伝える。		
6	Unit2 What is local food?	12	接続詞when, if, because, thatを用いた文を理解し、時や条件、理由や考え・意見など伝え合う。		
7	Unit3 What kind of job are you interested in?	12	不定詞を用いた文を理解し、何かをする目的や感情の原因、すべきことや大切なことなどについて、尋ねたり答えたりする。		
9	Let's Read1 History of Clocks	12	時間の経過を表す語句の意味や働きを理解し、時計がどのような歴史をたどって発展してきたかを読み取る。		
10	Unit4 What is important in homestay?	12	have to, must, 動名詞を理解し、しなければならないことや決まりごと、楽しんでいることなどについて伝える。		
11	Unit5 What design is good for everyone?	12	疑問詞+to, 主語+be動詞+形容詞+thatの文を理解し、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて伝え合う。		
12	Unit6 How can we make a good presentation?	12	比較表現を用いた文を理解し、複数のものを比べて伝え合ったり、尋ねたり、答えたりする。		
1	Let's Read2 A Glass of Milk	12	場面や登場人物の心情を表す表現を理解し、物語の流れに沿って登場人物の気持ちを読み取る。		
2	Unit7 What are World Heritage sites and their problems?	12	受け身の文を理解し、世界遺産などについて事実や自分の考えや気持ちを伝え合ったり、尋ねたり答えたりする。		
3	Let's Read3 Picture and Our Beautiful Planet ・1年間のまとめ	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列を表す文章構成や語句を理解して文章の内容を読み取る。</li> <li>・単語、文法の復習をし、1年間の学習事項の定着を図る。</li> </ul>		
通年	ALTとの英語でのやり取りを中心とした学習	11	ALTと英語でやり取りして、他国の文化に触れる。		

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部		学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	道徳			学習グループ名	中⑤	
目標・ねらい	(1) 生徒相互が理解し信頼し合う態度を養う。 (2) 責任をもってやり抜こうとする実践意欲を養う。 (3) 自他の生命を大切にする心情を養う。					
年間授業時数	36 単位時間					
使用教科書	あすを生きる2					
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫	
4	おじさん役と私 おばちゃんのかれた「おまじ ない」 挨拶は言葉のスキンシップ	3	向上心、個性の伸長 勤労 礼儀		一人ひとりに必ず自分らしいよさがあり、自分を受け入れたうえで広い視野と向上心をもって磨くことで個性は輝いていくことの自覚を通して、自分らしい生き方を追求しようとする態度を育む。	
5	五月の風ーカー 五月の風ーミカー リスペクト アザース 名乗り出なかった友 戦争を取材する 時を越えて	8	布達と男よ、 克己と強い意志 自主、自律、自由と責任 友情、信頼 公正、公平、社会正義 思いやり、感謝 真理の探究、創造 国際理解 国際貢献		物事を始めたときの思いが自分の信念となり、それが目標に向かって困難を乗り越えていく原動力になることの自覚を通して、より高い目標に向けて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。	
6	一樹野で生まれた					
7	父の決意 和樹の夏祭り	2	生命の尊さ 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		命は自分だけのものではなく、家族などの強いきずなで結ばれた関係性に支えられて私たちは生きていることを自覚し、たった一つの命を大切に人生を生き抜こうとする態度を育てる。	
9	他人の靴を履いてみる ネット将棋 樹齢七千年の杉 あすを生きる1	3	相互理解、寛容 公正、公平、社会正義 自主、自律、自由と責任 感動、畏敬の念		ほかの人の立場に立つことで、多様な視点から物事を見ることができ、自分の世界が広がることの自覚を通して、意見や立場の異なる人に対しても自分から理解しようとする態度を育てる。	
10	上勝から世界を変える 美しい鳥取砂丘	4	よりよく生きる喜び 勤労 自然愛護 遵法精神、公德心		自分の弱さや未熟さを認めようとして、自分のやってきたことや可能性を信じることが人間としての強さにつながっていくことの自覚を通して、人間として気高く生きようとする態度を育てる。	
11	行動する建築家 坂 茂 夜のくだもの屋 アフガニスタンの人々と共に	4	思いやり、感謝 国際理解、国際貢献 よりよい学校生活、 集団生活の充実		人間はさりげない善意や深い思いやりによって支えられ守られていること、そしてそれらに対して感謝することの難しさを自覚し、思いやりと感謝の心をもって人と接しようとする態度を育てる。	
12	命を見つめて 一猿渡瞳さんの六百四十六日 行く年、来る年	2	生命の尊さ 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度		伝統文化の形は時代によって変化するが、生活の中の願いや思いは受け継がれており、自分も受け継ぐ一人であることを自覚し、日本の伝統と文化を継承しようとする実践意欲を育てる。	
1	コトコの涙 マークはなんのために? 最後のパートナー	3	相互理解、寛容 社会参画、公共の精神 生命の尊さ		困難を抱える人が生活しやすい社会は、誰もが生活しやすい社会でもあり、自分もそんな社会をつくる一員であることを自覚し、主体的によりよい社会をつくらうとする実践意欲を育てる。	
2	避難所にて よみがえれ、えりもの森 足袋の季節 恋する涙	4	節度、節制 自然愛護 よりよく生きる喜び 友情、信頼		人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を得ており、過去と現在の自然との関わり方が未来へとつながっていくことの自覚を通して、自然に感謝しながら守り大切にしようとする態度を育てる。	
3	包む きいちゃん	3	我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度 家族愛、家庭生活の充実		家族は一人ひとりが深いきずなで結ばれたかけがえのない存在であり、家族の存在がお互いの生きる支えになることの自覚を通して、信頼と愛情のある家庭生活を築いていこうとする心情を育てる。	
通年						

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名		準ずる教育課程	
教科等名	総合的な学習の時間			学習グループ名			
目標・ねらい	(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協働的にとりくむ経験を積む。						
年間授業時数	81 単位時間						
使用教科書							
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫	
4	自己紹介 今年度の目標設定	5	◆自分のことを自分の言葉で表現 ◆自己の目標、グループの目標を設定する。			(1) 自分の考えを相手に伝える方法を知る。 (2) 相手の意見をふまえた上で、自分の考えをもち、自分で判断し問題解決につなげる資質を身に付ける。 (3) 学び方やものの考え方を身に付け、多くの活動に主体的、協働的にとりくむ経験を積む。	
5	校外学習(事前学習)	8	◆都庁についての調べ学習・発表・しおり作成				
6							
7	校外学習(事後学習)	4	◆校外学習で学んだことを振り返り・まとめる				
9	2学期の目標設定 情報リテラシー学習	6	◆自己の目標、グループの目標を設定する。 ◆情報リテラシー、SNSの使い方、インターネットの適切な使い道を身に付ける。				
10	防災学習	12	◆学校周辺の防災マップを作成し、防災についての知識を深める。				
11							
12	進路学習	6	◆人生予想図の作成 ◆適正把握や、高校、大学、職業についての調べ学習 ◆高校や大学、職業について学び、自分に合った進路について考える。				
1	3学期の目標設定 ビジネスマナー	8	◆自己の目標、グループの目標を設定する。 ◆礼儀やマナーについて考え、話し合う。				
2	買い物学習	4	◆公共施設を利用するときのマナーを学ぶ。				
3	1年間の振り返り	4	◆目標をもとに、一年の振り返りを行う。				
通年	栽培活動、読書活動	24	作物や植物を栽培する。学校図書館を利用する。				

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別活動		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 学習や活動に工夫して取り組む楽しさを知る。 (2) 身近な仲間を意識し、協力し合う方法を考えながら学校生活を送る。 (3) 行事への期待感や興味・関心を高め、自主的・主体的に活動する。				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	オリエンテーション	1	○行事や学習内容に関するオリエンテーション。 ◆学校生活に見通しや期待感をもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	新入生歓迎会	2	○活動内容について意見を出し合い、協力し準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。		・出し物に見通しをもてるよう、どんな活動があるか例示する。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知る。 ○体育祭の競技種目を体験し、互いに励まし合い、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、参加する。		・支援具を工夫し、自分なりの方法で活動できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションをとる場面を設定する。
6	レクリエーション	4	○モルック、ゲームなど ◆レクリエーションを通して、仲間や身近な支援者を意識しながら活動する。		・学習グループを超えてコミュニケーションがとれる場面を設定する。
7	1学期を振り返って	1	○発声やスイッチなどの方法で主体的に発表する。 ◆1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
9 10 11	2学期の予定	1	○2学期の主な行事予定を確認する。 ◆2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	墨東祭について	14	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○発表の練習をする。 ○小道具や背景などを作成する。 ○墨東祭を振り返る。 ◆発表の練習や道具の制作を、見通しをもち主体的に参加する。		・自分なりの方法で活動できるよう支援具を工夫したり、繰り返し練習したりし、見通しをもち参加できるようにする。 ・学習グループを超えてコミュニケーションをとる場面を設定する。
12	2学期を振り返って	1	○2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。 ◆2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いに発表し合う。		・仲間を意識して発表できるよう言葉掛けを行う。
1 2	3学期の予定	1	○3学期の主な行事予定を確認する。 ◆3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。		・写真や視聴覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。
	3年生を送る会に向けて	5	○3年生を送る会の準備をする。 ◆3年生を意識して送る準備を主体的に行う。		・これまでの送る会の写真を見て、自分達なりの送り方を考えられるように支援する。
3	卒業式に向けて	2	○卒業式の練習に参加する。 ◆卒業式に向けて、式へ参加する心構えと見通しをもつ。		・見通しがもてるよう絵カードを提示したり言葉掛けをしたりする。
	2年生を振り返って進級に向けて	2	○2年生を振り返って、1年間頑張ったことを考え、発表する。 ◆1年を振り返り進級に向けて目標を確認する。		・自分なりの方法で発表できるよう支援する。
通年					

令和8年度(2026年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	中学部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		中⑤
目標・ねらい	(1) 障害による学習上、生活上の困難を知り、改善する。 (2) いろいろな姿勢や動作を経験することで、自分自身の身体とその動きを感じ、受け入れる力を付ける。 (3) ストレッチなど、変形や拘縮の予防につながる活動をすすんで行う。				
年間授業時数	72 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	身体の取り組み コミュニケーション	72	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストレッチ</li> <li>・姿勢変換(臥位から座位へ、寝返り、車いすから床への移乗、床から車いすへの移乗など)</li> <li>・姿勢保持(座位、膝立ち、立位など)</li> <li>・歩行練習</li> <li>・手指の操作性を高める取り組み</li> <li>・全身の運動性を高める取り組み</li> <li>・視機能を高める取り組み</li> <li>・コミュニケーションゲーム</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の取り組みを行う際には適切な指導を行えるよう、個々の身体の状態を細かく把握し、共有する。</li> <li>・日々の生活において自分自身で行えるような活動を外部専門員と相談し、決定する。</li> <li>・正しいコミュニケーションの方法や言葉遣いの例示を行う。</li> </ul>